

2010年10月29日

2010年度 第2四半期決算説明資料

・業績サマリー	P.2
・2010年度第2四半期 連結決算について	P.3 ~ 9
・2010年度 業績予想について	P.10 ~ 14
・新製品開発状況について	P.15 ~ 24
・その他	P.25 ~ 26

[注意事項]

- 1) 「平成23年3月期 第2四半期決算短信」並びに本説明資料は、2010年10月29日午後2時に大阪証券取引所及び東京証券取引所において記者発表し、公開しております。また同時刻に、これらの資料は東京証券取引所の「適時開示情報閲覧サービス」に掲載されています。
- 2) 「平成23年3月期 第2四半期決算短信」並びに本説明資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報を基礎とした判断および仮定に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。



田辺三菱製薬

< 目次 >

. 業績サマリー	…	2
1. 2010年度第2四半期 業績サマリー	…	2
2. 2010年度 業績予想サマリー	…	2
3. 配当金	…	2
. 2010年度第2四半期 連結決算について	…	3 ~ 9
1. 損益状況	…	3 ~ 5
損益実績	…	3
事業別売上高	…	3
売上原価 / 販売費及び一般管理費	…	3
主要製品売上高	…	4
営業外損益	…	5
特別損益	…	5
法人税等	…	5
2. 財務状況	…	6 ~ 7
資産・負債・純資産の状況	…	6
主要項目の増減	…	6
キャッシュ・フロー計算書	…	7
設備投資 / 情報システム開発投資	…	7
減価償却費	…	7
3. 関係会社	…	8 ~ 9
関係会社数	…	8
主要連結子会社の財務数値・従業員数	…	8
その他の連結子会社一覧	…	9
持分法適用非連結子会社一覧	…	9
持分法適用関連会社一覧	…	9
. 2010年度 業績予想について	…	10 ~ 14
損益予想	…	10
事業別売上高予想	…	10
販売費及び一般管理費 / 総人件費予想	…	10
主要製品売上高予想	…	11
設備投資予想	…	12
情報システム開発投資予想	…	12
減価償却費予想	…	12
四半期業績推移 (損益計算書)	…	13
四半期業績推移 (主要製品売上高)	…	14
. 新製品開発状況について (2010年10月29日現在)	…	15 ~ 24
1. 国内開発状況	…	15
新規化合物	…	15
効能追加	…	15
2. 海外開発状況	…	16
新規化合物	…	16
効能追加	…	16
3. 導出品の開発状況	…	17
4. 2010年度第1四半期決算発表時点 (2010年7月29日) からの変更点	…	18
5. 新製品開発状況補足資料 (2010年10月29日現在)	…	19 ~ 22
国内 新規化合物	…	19
国内 効能追加	…	20
海外 新規化合物	…	21
海外 効能追加	…	21
導出品	…	22
< 参考 > 主要医療用医薬品補足資料	…	23 ~ 24
. その他	…	25 ~ 26
1. 株式の状況	…	25
発行済株式数	…	25
配当金推移	…	25
大株主の状況	…	25
所有者別株式数分布状況	…	25
外国人持株比率	…	25
2. その他関連データ	…	26
従業員数 (就業人員数) 推移	…	26
2010年4月以降のトピックス	…	26

業績サマリー

(億円未満四捨五入)

1. 2010年度第2四半期 業績サマリー

売上高	2,047 億円	対前年同期比	64 億円	3.3 %
医薬品事業	1,998 億円	対前年同期比	64 億円	3.3 %
その他	48 億円	対前年同期比	0 億円	0.9 %

医薬品事業では、売上高は1,998億円となり、前年同期比 + 3.3%、64億円の増収となった。

国内医療用医薬品は、本年4月に実施された薬価改定の影響があったが、抗ヒトTNF モノクローナル抗体製剤「レミケード」が前年同期を大きく上回ったほか、脳保護剤「ラジカット」、選択的 1 遮断剤「メインテート」、アレルギー性疾患治療剤「タリオン」などが順調に推移した。また、本年4月に接種勧奨が再開された乾燥細胞培養日本脳炎ワクチン「ジェービックV」やジェネリック医薬品も増収となった。

各事業の主たる製品及び役務の内容

医薬品事業：医療用医薬品、一般用医薬品

その他：化成品、不動産賃貸業、情報サービス、宣伝製作物等

営業利益	402 億円	対前年同期比	127 億円	46.3 %
------	--------	--------	--------	--------

売上高は64億円の増収となったが、薬価改定の影響などにより、売上総利益は僅かに減益となった。売上原価率は38.0%、前年同期比2.2ポイントの悪化。

ライセンス契約変更に伴う一時金支払いが約100億円あった前期と比較して、研究開発費が大きく減少したほか、退職給付費用の減少などにより人件費が減少したことに加え、販売促進費なども減少した結果、販売費及び一般管理費は867億円、前年同期比 13.1%、131億円の減少となった。なお、研究開発費は325億円、売上高に対する割合は15.9%となっている。

経常利益	405 億円	対前年同期比	126 億円	45.0 %
------	--------	--------	--------	--------

四半期純利益	227 億円	対前年同期比	92 億円	67.5 %
--------	--------	--------	-------	--------

経常利益は前年同期比 + 45.0%、126億円増益の405億円、四半期純利益は前年同期比 + 67.5%、92億円増益の227億円となった。

投資有価証券評価損が24億円、遺伝子組換え人血清アルブミン製剤「メドウェイ注」の事業休止関連損失7億円など38億円の特別損失が発生した。前期には本社移転に伴う減損損失や構造改革費用、「メドウェイ注」の事業休止関連損失など47億円の特別損失を計上したため、特別損益は13億円の改善となっている。

2. 2010年度 業績予想サマリー

売上高	4,010 億円	対前期比	37 億円	0.9 %
営業利益	670 億円	対前期比	55 億円	9.0 %
経常利益	670 億円	対前期比	54 億円	8.7 %
当期純利益	355 億円	対前期比	52 億円	17.3 %

3. 配当金

	2009年度		2010年度	
	2Q末	年間	2Q末	年間(予想)
1株当たり配当金(円)	14	28	14	28
配当性向	39.0%		28.3%	34.5%

(注) 配当性向は、当期純利益からのれん償却額を除いた利益と年間配当金から算出している。

2010年度第2四半期 連結決算について

1. 損益状況

損益実績

(単位:百万円)

	2009年度上期	2010年度上期	対前年同期比較		対予想比較		
			増減額	増減率%	予想(注1)	増減額	増減率%
売上高	198,239	204,684	6,445	3.3	198,000	6,684	3.4
売上原価	71,005	77,835	6,830	9.6	77,000	835	1.1
売上原価率	35.8%	38.0%			38.9%		
販管費	99,778	86,694	13,084	13.1	90,000	3,306	3.7
販管費比率	50.3%	42.4%			45.5%		
営業利益	27,456	40,155	12,699	46.3	31,000	9,155	29.5
経常利益	27,910	40,473	12,563	45.0	31,000	9,473	30.6
特別利益	77	456	379	492.2	-	456	-
特別損失	4,668	3,751	917	19.6	3,000	751	25.0
四半期純利益	13,552	22,704	9,152	67.5	16,000	6,704	41.9

事業別売上高

(単位:百万円)

	2009年度上期	2010年度上期	対前年同期比較		対予想比較			主なポイント(対前年同期比較)
			増減額	増減率%	予想(注1)	増減額	増減率%	
医薬品事業	193,435	199,836	6,401	3.3	192,600	7,236	3.8	国内医療用医薬品 +70億円 技術導出契約金等 7億円 詳細は4ページ、主要製品売上高を参照
構成比	97.6%	97.6%			97.3%			
(国内)	(181,235)	(187,478)	(6,243)	(3.4)	(180,500)	(6,978)	(3.9)	
(海外)	(12,200)	(12,358)	(158)	(1.3)	(12,100)	(258)	(2.1)	
その他	4,804	4,848	44	0.9	5,400	552	10.2	
構成比	2.4%	2.4%			2.7%			
(国内)	(3,509)	(3,480)	(29)	(0.8)	(3,700)	(220)	(5.9)	
(海外)	(1,295)	(1,368)	(73)	(5.6)	(1,700)	(332)	(19.5)	
売上高合計	198,239	204,684	6,445	3.3	198,000	6,684	3.4	海外売上高比率 2009年度上期:6.8% 2010年度上期:6.7% 平均為替レート 2009年度上期:1US\$ = 95.98円 2010年度上期:1US\$ = 91.02円
構成比	100.0%	100.0%			100.0%			
(国内)	(184,744)	(190,958)	(6,214)	(3.4)	(184,200)	(6,758)	(3.7)	
(海外)	(13,495)	(13,726)	(231)	(1.7)	(13,800)	(74)	(0.5)	

売上原価 / 販売費及び一般管理費

(単位:百万円)

	2009年度上期	2010年度上期	対前年同期比較		対予想比較			主なポイント(対前年同期比較)
			増減額	増減率%	予想(注1)	増減額	増減率%	
売上原価	71,005	77,835	6,830	9.6	77,000	835	1.1	薬価改定の影響等により売上原価率が悪化
比率	35.8%	38.0%			38.9%			
販管費	99,778	86,694	13,084	13.1	90,000	3,306	3.7	
比率	50.3%	42.4%			45.5%			
研究開発費	44,567	32,492	12,075	27.1	35,500	3,008	8.5	前期)MP-424のライセンス契約変更に伴う対価の支払い 約100億円
比率	22.5%	15.9%			17.9%			
人件費	26,219	25,821	398	1.5	25,500	321	1.3	退職給付費用の減少など
販売促進費	5,629	5,312	317	5.6	5,500	188	3.4	業務停止による影響など
のれん償却額	5,067	5,072	5	0.1	5,000	72	1.4	業務停止による旅費交通費の減少など
(注2)								
その他	18,296	17,997	299	1.6	18,500	503	2.7	
総人件費	44,644	44,039	605	1.4	44,000	39	0.1	

(注1)2010年7月29日 2010年度第1四半期決算発表時の公表数値

(注2)合併に係るのれん1,505億円を15年償却

主要製品売上高

(単位:億円)(億円未満四捨五入)

	2009年度上期	2010年度上期	対前年同期比較		対予想比較		
			増減額	増減率%	予想(注1)	増減額	増減率%
医療用医薬品	1,908	1,970	62	3.2	1,899	71	3.7
国内医療用医薬品	1,721	1,791	70	4.1	1,724	67	3.9
レミケード	227	293	66	29.0	-	-	-
ラジカット	139	143	4	2.9	-	-	-
セレジスト	84	90	6	6.7	-	-	-
アンブラーグ	95	83	12	13.0	-	-	-
ウルソ	83	77	5	6.5	-	-	-
メインテート	55	60	5	9.1	-	-	-
デバス	59	57	2	2.6	-	-	-
タナトリル	58	50	8	13.5	-	-	-
ヘルベッサー	56	49	7	12.2	-	-	-
タリオン	41	47	6	14.8	-	-	-
ヴェノグロブリンIH	49	46	4	7.9	-	-	-
リブル	41	37	4	9.9	-	-	-
サアミオン	38	33	5	12.8	-	-	-
ノイアート	29	28	1	3.3	-	-	-
オメブラゾン	29	25	4	12.5	-	-	-
ノバスタン	15	17	2	13.9	-	-	-
ワクチン(注2)	131	151	20	15.4	-	-	-
(内、ミールピック)	(78)	(76)	(2)	(2.8)	-	-	-
(内、インフルエンザ)(注2)	(24)	(19)	(5)	(19.3)	-	-	-
(内、ジェービックV)	(11)	(37)	(26)	(246.5)	-	-	-
ジェネリック(注3)	35	54	19	53.8	-	-	-
海外医療用医薬品	113	113	0	0.3	114	1	0.9
ヘルベッサー	25	24	0	1.7	-	-	-
アルガトロバン (ノバスタン)	17	18	1	5.8	-	-	-
タナトリル	10	10	0	0.3	-	-	-
アンブラーグ	6	4	2	36.3	-	-	-
ワクチン	7	7	0	2.1	-	-	-
製造受託品(注4)	53	52	1	1.7	52	0	0.7
技術導出契約金等	20	13	7	35.5	9	4	40.1
一般用医薬品	27	29	2	7.9	27	2	6.9
医薬品事業	1,934	1,998	64	3.3	1,926	72	3.8
その他	48	48	0	0.9	54	6	10.2
売上高合計	1,982	2,047	64	3.3	1,980	67	3.4

(注1) 2010年7月29日 2010年度第1四半期決算発表時の公表数値

(注2) ワクチンおよびインフルエンザワクチンには、新型インフルエンザワクチンを含まない

(注3) 田辺製薬販売の取扱品

(注4) 他社製品の製造受託品等

営業外損益

(単位:百万円)

	2009年度上期	2010年度上期	増減額	主なポイント
営業外収益	1,807	1,742	65	
受取利息	932	801	131	
受取配当金	434	473	39	
持分法による投資利益	83	-	83	
その他	358	468	110	
営業外費用	1,353	1,424	71	
支払利息	16	7	9	
持分法による投資損失	-	34	34	
為替差損	233	263	30	
租税公課	-	213	213	
固定資産除却損	233	175	58	
寄付金	161	158	3	
その他	710	574	136	

特別損益

(単位:百万円)

	2009年度上期	2010年度上期	増減額	主なポイント
特別利益	77	456	379	
固定資産売却益	-	277	277	
過年度特許実施料戻入額	-	179	179	
投資有価証券売却益	77	-	77	
特別損失	4,668	3,751	917	
投資有価証券評価損	263	2,426	2,163	
事業休止関連損失	1,699	737	962	メドウェイ事業休止に伴う費用
特別退職金	-	448	448	転籍に伴う加算退職金
構造改革費用	528	140	388	前期)本社移転費用など
減損損失	1,824	-	1,824	前期)本社移転
その他	354	-	354	

法人税等

(単位:百万円)

	2009年度上期	2010年度上期	増減額	主なポイント
税金等調整前当期純利益	23,319	37,178	13,859	法定実効税率 40.6%
法人税、住民税 及び事業税	9,923	12,892	2,969	交際費等永久に損金に算入されない項目 2.1%
法人税等調整額	589	1,759	1,170	受取配当金等永久に益金に算入されない項目 2.7%
少数株主利益	745	177	568	住民税均等割 0.2%
四半期純利益	13,552	22,704	9,152	試験研究費の特別控除 8.6%
				のれん償却額 5.5%
				受取配当金の消去 2.4%
				その他 0.1%
				税効果会計適用後の法人税等の負担率 39.4%

2. 財務状況

資産・負債・純資産の状況

(単位: 百万円)

	2009年度末	2010年度 第2四半期末	構成比%	増減額	主なポイント
総資産	796,858	810,923	100.0	14,065	
流動資産	344,249	365,636	45.1	21,387	現金及び預金 +21億円、有価証券 +208億円、売上債権(注1) +6億円、たな卸資産 +40億円、預け金 72億円、繰延税金資産 +7億円、その他の流動資産 +3億円
固定資産	452,609	445,287	54.9	7,322	有形固定資産 21億円、無形固定資産 52億円、投資有価証券 +3億円、前払年金費用 +19億円、その他の投資等 23億円
負債	120,045	122,981	15.2	2,936	
流動負債	77,767	83,751	10.3	5,984	仕入債務(注2) +88億円、未払金 66億円、未払法人税等 +19億円、その他の流動負債 +17億円
固定負債	42,278	39,230	4.8	3,048	繰延税金負債 +2億円、退職給付引当金 7億円、スモン訴訟健康管理手当等引当金 3億円、HCV訴訟損失引当金 32億円、その他の固定負債 +9億円
純資産	676,813	687,942	84.8	11,129	
株主資本	680,317	695,076	85.7	14,759	利益剰余金 +148億円
評価・換算差額等	9,847	13,084	1.6	3,237	その他有価証券評価差額金 11億円
少数株主持分	6,343	5,950	0.7	393	

主要項目の増減

(単位: 百万円)

	2009年度末	2010年度 第2四半期末	増減額	主なポイント
現金及び預金	22,792	24,922	2,130	P7「キャッシュ・フロー計算書」参照
有価証券	59,726	80,568	20,842	譲渡性預金、国債の増加など
売上債権(注1) (売上債権回転月数)	126,227 (3.74)	126,861 (3.72)	634 (0.02)	
たな卸資産	73,166	77,157	3,991	主にレミケード、ワクチンなど製商品の増加
預け金	46,271	39,077	7,194	三菱ケミカルホールディングスグループ金融会社 エムシー・エフエー向け預け金
繰延税金資産	11,394	12,108	714	
その他の流動資産	4,673	4,943	270	
有形固定資産	117,218	115,139	2,079	設備投資 +39億円、減価償却 55億円
無形固定資産	129,614	124,441	5,173	情報システム開発投資 +4億円、のれん償却 51億円、減価償却 5億円
投資有価証券	139,133	139,474	341	
前払年金費用	36,730	38,625	1,895	
その他の投資等	29,914	27,608	2,306	
仕入債務(注2)	27,557	36,400	8,843	レミケード、ワクチンなどの債務増加
未払金	20,202	13,592	6,610	
未払法人税等	11,080	12,958	1,878	
その他の流動負債	16,488	18,176	1,688	
有利子負債	2,440	2,625	185	
短期借入金(注3)	2,410	2,610	200	
長期借入金(注4)	30	15	15	
繰延税金負債	11,267	11,478	211	
退職給付引当金	13,159	12,499	660	
HIV訴訟健康管理手当等引当金	1,627	1,627	-	
スモン訴訟健康管理手当等引当金	4,205	3,914	291	
HCV訴訟損失引当金	10,689	7,480	3,209	和解金の支払いに伴う取り崩し
その他の固定負債	1,331	2,232	901	
資本金	50,000	50,000	-	
資本剰余金	451,185	451,186	1	
利益剰余金	179,409	194,257	14,848	四半期純利益 +227億円、配当金支払い 79億円
自己株式	277	367	90	
その他有価証券評価差額金	3,218	4,367	1,149	

(注1) 売上債権 = 受取手形 + 売掛金 (注2) 仕入債務 = 支払手形(除く営業外支払手形) + 買掛金
(注3, 4) 借入金...1年以内返済予定長期借入金は長期借入金に含めた。

キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	2009年度上期	2010年度上期	増減額	2009年度	主なポイント
現金・現金同等物期首残高	116,903	62,958	53,945	116,903	
営業キャッシュ・フロー	2,846	32,900	30,054	23,923	
投資キャッシュ・フロー	37,736	24,878	12,858	61,227	有価証券の取得・売却 +184億円 (前期 143億円、当期 +41億円) 定期預金の預入・払戻 +7億円 (前期 1億円、当期 +6億円) 長期預金の預入 +7億円 (前期 6億円、当期 +0億円) 有形固定資産の取得・売却 1億円 (前期 38億円、当期 39億円) 無形固定資産の取得 +8億円 (前期 12億円、当期 4億円) 投資有価証券の取得・売却 66億円 (前期 188億円、当期 253億円)
財務キャッシュ・フロー	9,002	7,784	1,218	17,105	短期借入金を増減 +6億円 (前期 4億円、当期 +2億円) 長期借入金の返済 +7億円 (前期 7億円、当期 0億円)
現金・現金同等物に係る換算差額	519	703	1,222	274	
現金・現金同等物の増減額	43,373	465	42,908	54,135	
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	190	5	185	190	
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	59	59	-	
現金・現金同等物期末残高	73,720	62,557	11,163	62,958	

* 現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表上の現金及び預金との関係 (単位:百万円)

	2009年度上期	2010年度上期
現金及び預金	18,368	24,922
預入期間が3ヵ月を超える定期預金	1,450	9,499
取得日から3ヵ月以内に償還期限が到来する有価証券	6,000	8,000
短期貸付金に含まれる現金同等物	50,802	67
預け金に含まれる現金同等物	-	39,067
現金及び現金同等物	73,720	62,557

設備投資 / 情報システム開発投資

(単位:百万円)

	2009年度上期	2010年度上期	増減額	2009年度
設備投資額 / 発生ベース	3,129	3,924	795	8,378
システム投資額 / 発生ベース	1,043	394	649	815

< 2010年度上期の主な取得設備 >

田辺三菱製薬	19億円
・横浜事業所研究棟建設	(11億円)
田辺三菱製薬工場	10億円

< 2010年度上期の主な情報システム開発投資 >

田辺三菱製薬	2億円
--------	-----

減価償却費

(単位:百万円)

	2009年度上期	2010年度上期	増減額	2009年度
有形固定資産	5,856	5,471	385	12,283
無形固定資産	473	546	73	1,008

3. 関係会社

関係会社数

	2009年度末	2010年度 第2四半期末	増減数	特記事項
連結子会社数	27	28	1	増加) 広東田辺医薬
非連結子会社	6	4	2	減少) 広東田辺医薬、興栄商事
関連会社数	4	4	-	
合計	37	36	1	

主要連結子会社の財務数値・従業員数

(単位:百万円)

項目	会社名	期	ベネシス	田辺三菱製薬工場	ミツビシ タナベ ファーマ コリア	三菱製薬(広州)	天津田辺製薬
			3月末	3月末	12月末	12月末	12月末
決算期			3月末	3月末	12月末	12月末	12月末
資本金		2010年度2Q末	3,000	1,130	372	1,269	1,261
		2009年度末	3,000	1,130	372	1,269	1,261
		2009年度2Q末	3,000	1,130	372	1,269	1,261
議決権 所有割合		2010年度2Q末	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	66.7%
		2009年度末	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	66.7%
		2009年度2Q末	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	66.7%
総資産		2010年度2Q末	30,405	56,169	2,319	4,640	2,012
		2009年度末	29,018	57,937	2,504	4,959	1,803
		2009年度2Q末	27,361	53,684	2,089	5,118	1,879
純資産		2010年度2Q末	24,814	37,543	1,741	3,837	1,457
		2009年度末	24,730	37,059	1,703	3,894	1,398
		2009年度2Q末	23,058	33,530	1,422	3,814	1,487
売上高		2010年度上期	9,811	26,747	1,930	1,348	1,054
		2009年度	18,714	53,804	3,519	3,441	2,016
		2009年度上期	6,789	25,340	1,679	1,643	1,038
営業利益		2010年度上期	975	1,750	299	111	103
		2009年度	1,668	2,580	603	565	156
		2009年度上期	822	1,382	304	244	113
経常利益		2010年度上期	1,011	1,769	302	106	102
		2009年度	1,612	2,504	614	558	157
		2009年度上期	793	1,338	324	245	113
純損益		2010年度上期	628	1,201	215	83	108
		2009年度	1,087	1,434	457	426	110
		2009年度上期	585	906	251	196	80
研究開発費		2010年度上期	1,110	556	-	4	-
		2009年度	2,346	1,153	-	23	17
		2009年度上期	1,242	596	-	9	-
有形固定資産 減価償却費		2010年度上期	512	1,820	27	60	30
		2009年度	1,224	4,016	50	111	61
		2009年度上期	595	1,913	21	51	31
従業員数		2010年度2Q末	580	1,194	124	451	344
		2009年度末	569	1,115	120	430	321
		2009年度2Q末	571	1,022	118	412	343

その他の連結子会社一覧

(2010年9月30日現在)

	会社名	資本金(百万円)	議決権所有割合(内、間接所有分)	決算期
1	吉富薬品(株)	385	100.0 ()	3月末
2	MPロジスティクス(株)	95	65.0 ()	3月末
3	(株)パイファ	7,500	51.0 ()	3月末
4	田辺製薬吉城工場(株)	400	100.0 ()	3月末
5	田辺製薬販売(株)	169	92.7 (7.7)	3月末
6	(株)田辺アールアンドディー・サービス	44	100.0 ()	3月末
7	田辺総合サービス(株)	90	100.0 ()	3月末
8	ウェルファイド・インターナショナル・コーポレーション	US\$36,816,000	100.0 ()	12月末
9	アルファ・テラビュティク・コーポレーション	US\$50,000,000	100.0 (100.0)	12月末
10	MP ヘルスケア ベンチャー マネジメント	US\$100	65.0 ()	12月末
11	ミツビシ タナベ ファーマ ホールディングス アメリカ	US\$166	100.0 ()	12月末
12	ミツビシ タナベ ファーマ ディベロップメント アメリカ	US\$100	100.0 (100.0)	12月末
13	タナベ リサーチ ラボラトリーズ U.S.A.	US\$3,000,000	100.0 (100.0)	12月末
14	タナベ U.S.A.	US\$1,400,000	100.0 (100.0)	12月末
15	ミツビシ タナベ ファーマ アメリカ	US\$100	100.0 (100.0)	12月末
16	三菱製薬研発(北京)有限公司	US\$1,000,000	100.0 ()	12月末
17	広東田辺医薬有限公司	7,000千元	100.0 ()	12月末
18	台湾田辺製薬股份有限公司	NT\$90,000,000	65.0 ()	12月末
19	台田薬品股份有限公司	NT\$20,000,000	65.0 ()	12月末
20	タナベ インドネシア	US\$2,500,000	99.6 ()	12月末
21	ミツビシ ファーマ ヨーロッパ	£4,632,000	100.0 ()	12月末
22	ミツビシ ファーマ ドイツ	EUR 25,000	100.0 (100.0)	12月末
23	タナベ ヨーロッパ	EUR 260,330	100.0 ()	12月末

持分法適用非連結子会社一覧

(2010年9月30日現在)

	会社名	資本金(百万円)	議決権所有割合(内、間接所有分)	決算期
1	長生堂製薬(株)	340	51.0 ()	12月末
2	ホシエヌ製薬(株)	75	51.0 (51.0)	3月末

持分法適用関連会社一覧

(2010年9月30日現在)

	会社名	資本金(百万円)	議決権所有割合(内、間接所有分)	決算期
1	(株)エービーアイ コーポレーション	4,000	47.7 ()	3月末
2	サンケミカル(株)	342	48.3 ()	3月末
3	サンテラボ・タナベ シミイ	EUR 1,600,000	50.0 ()	12月末

. 2010年度 業績予想について

損益予想

(単位:億円)(億円未満四捨五入)

	2009年度 下期実績	2010年度 下期予想	増減額	増減率%	2009年度 通期実績	2010年度 通期予想	増減額	増減率%	主なポイント
売上高	2,065	1,963	102	4.9	4,047	4,010	37	0.9	
売上原価 売上原価率	768 37.2%	762 38.8%	6	0.8	1,478 36.5%	1,540 38.4%	62	4.2	薬価改定の影響などによる 売上原価率の上昇
販管費 販管費比率	957 46.3%	933 47.5%	24	2.5	1,955 48.3%	1,800 44.9%	155	7.9	
営業利益	340	268	72	21.1	615	670	55	9.0	
経常利益	337	265	72	21.4	616	670	54	8.7	
特別利益	0	0	0	450.0	1	5	4	488.2	
特別損失	61	37	23	38.5	108	75	33	30.3	投資有価証券評価損、 事業休止関連損失など
当期純利益	167	128	39	23.4	303	355	52	17.3	

事業別売上高予想

(単位:億円)(億円未満四捨五入)

	2009年度 下期実績	2010年度 下期予想	増減額	増減率%	2009年度 通期実績	2010年度 通期予想	増減額	増減率%	主なポイント
医薬品事業	2,023	1,909	114	5.7	3,957	3,907	50	1.3	詳細は11ページ、主要製品 売上高予想を参照
構成比	98.0%	97.2%			97.8%	97.4%			
(国内)	(1,899)	(1,785)	(113)	(6.0)	(3,711)	(3,660)	(51)	(1.4)	
(海外)	(124)	(123)	(1)	(0.8)	(246)	(247)	(1)	(0.2)	
その他	42	55	12	29.5	90	103	13	14.3	海外売上高比率 2009年度:6.6% 2010年度予想:6.8% 計画為替レート 1US\$ = 90円
構成比	2.0%	2.8%			2.2%	2.6%			
(国内)	(33)	(40)	(7)	(22.3)	(68)	(75)	(7)	(10.4)	
(海外)	(9)	(14)	(5)	(55.1)	(22)	(28)	(6)	(26.2)	
売上高合計	2,065	1,963	102	4.9	4,047	4,010	37	0.9	
構成比	100.0%	100.0%			100.0%	100.0%			
(国内)	(1,931)	(1,825)	(106)	(5.5)	(3,779)	(3,735)	(44)	(1.2)	
(海外)	(134)	(138)	(4)	(3.0)	(269)	(275)	(6)	(2.4)	

販売費及び一般管理費 / 総人件費予想

(単位:億円)(億円未満四捨五入)

	2009年度 下期実績	2010年度 下期予想	増減額	増減率%	2009年度 通期実績	2010年度 通期予想	増減額	増減率%	主なポイント
販管費	957	933	24	2.5	1,955	1,800	155	7.9	
研究開発費	385	375	10	2.6	831	700	131	15.7	研究開発比率:17.5% (前期)MP-424のライセンス 契約変更に伴う対価の支 払い約100億円
人件費	268	252	16	6.1	530	510	20	3.8	退職給付費用の減少など
販売促進費	63	65	2	2.6	120	118	2	1.3	
のれん償却額(注)	51	50	0	0.8	101	101	0	0.4	
その他	190	191	1	0.7	373	371	2	0.5	
総人件費	453	435	19	4.2	900	875	25	2.8	

(注)1,505億円を15年償却

④ 主要製品売上高予想

(単位:億円)(億円未満四捨五入)

	2009年度 下期実績	2010年度 下期予想	増減額	増減率%	2009年度 通期実績	2010年度 通期予想	増減額	増減率%
医療用医薬品	2,000	1,885	△ 115	△ 5.8	3,908	3,854	△ 53	△ 1.4
国内医療用医薬品	1,825	1,716	△ 109	△ 6.0	3,546	3,507	△ 39	△ 1.1
レミケード	244	314	69	28.4	472	607	135	28.7
ラジカット	141	140	△ 1	△ 0.7	280	283	3	1.1
セレジスト	85	88	3	4.1	169	178	9	5.4
アンブラーグ	89	77	△ 12	△ 13.5	184	160	△ 24	△ 13.3
ウルソ	80	73	△ 7	△ 9.0	163	150	△ 13	△ 7.7
メインテート	56	59	3	5.6	110	118	8	7.4
デパス	57	54	△ 3	△ 5.7	116	111	△ 5	△ 4.1
タナトリル	54	43	△ 11	△ 20.1	111	93	△ 19	△ 16.7
ヘルベッサー	52	46	△ 6	△ 11.5	108	95	△ 13	△ 11.9
タリオン	65	78	13	20.3	106	126	19	18.2
ヴェノグロブリンIH	47	42	△ 5	△ 9.8	96	88	△ 9	△ 8.8
リプル	39	35	△ 3	△ 8.7	80	73	△ 7	△ 9.3
サアミオン	34	31	△ 4	△ 11.3	72	64	△ 9	△ 12.1
ノイアート	29	27	△ 2	△ 5.3	57	55	△ 2	△ 4.3
オメプラゾン	27	23	△ 4	△ 15.4	55	48	△ 8	△ 13.9
ノバスタン	14	14	0	3.0	29	31	2	8.6
ワクチン(注1)	99	117	18	17.9	230	268	38	16.5
(内、ミールビック)	(40)	(42)	(2)	(6.1)	(118)	(118)	(0)	(0.2)
(内、インフルエンザ)(注1)	(40)	(53)	(14)	(35.3)	(64)	(73)	(9)	(14.6)
(内、ジェービックV)	(9)	(10)	(1)	(6.1)	(20)	(47)	(27)	(133.9)
ジェネリック(注2)	50	81	31	61.4	85	135	50	58.2
海外医療用医薬品	115	108	△ 7	△ 6.0	228	221	△ 7	△ 3.2
ヘルベッサー	22	20	△ 2	△ 7.7	47	45	△ 2	△ 4.5
アルガトロバン (ノバスタン)	19	12	△ 7	△ 34.7	36	31	△ 6	△ 15.3
タナトリル	8	8	0	△ 4.2	18	18	0	△ 1.8
アンブラーグ	5	6	0	8.9	11	10	△ 2	△ 15.4
ワクチン	6	7	0	6.2	13	13	0	2.0
製造受託品(注3)	49	45	△ 4	△ 8.0	102	97	△ 5	△ 4.8
技術導出契約金等	11	16	5	48.1	31	29	△ 2	△ 6.5
一般用医薬品	23	24	1	3.8	50	53	3	6.0
医薬品事業	2,023	1,909	△ 114	△ 5.7	3,957	3,907	△ 50	△ 1.3
その他	42	55	12	29.5	90	103	13	14.3
売上高合計	2,065	1,963	△ 102	△ 4.9	4,047	4,010	△ 37	△ 0.9

(注1) ワクチンおよびインフルエンザワクチンの2009年度実績には、新型インフルエンザワクチンを含まない

2010年度については、新型インフルエンザワクチンは従来のインフルエンザワクチンに一本化されている

(注2) 田辺製薬販売の取扱品

(注3) 他社製品の製造受託品等

設備投資予想

(単位:億円)(億円未満四捨五入)

	2009年度 下期実績	2010年度 下期予想	増減額	増減率%	2009年度 通期実績	2010年度 通期予想	増減額	増減率%
設備投資額 / 発生ベース	52	69	16	30.7	84	108	24	28.7

< 2010年度下期の主な取得予定設備 >

生産関係設備	44億円
・MCI-196海外対応設備	(15億円)
研究関係設備	20億円
・横浜事業所研究棟建設	(16億円)
その他	5億円

情報システム開発投資予想

(単位:億円)(億円未満四捨五入)

	2009年度 下期実績	2010年度 下期予想	増減額	増減率%	2009年度 通期実績	2010年度 通期予想	増減額	増減率%
システム投資額 / 発生ベース	2	6	9	-	8	10	2	28.0

< 2010年度下期の主なシステム投資予定 >

研究開発関係システム	2億円
生産関係システム	2億円
その他	2億円

減価償却費予想

(単位:億円)(億円未満四捨五入)

	2009年度 下期実績	2010年度 下期予想	増減額	増減率%	2009年度 通期実績	2010年度 通期予想	増減額	増減率%
有形固定資産	64	64	0	0.7	123	119	4	3.5
無形固定資産	5	4	1	17.2	10	10	0	1.9

四半期業績推移(損益計算書)

(単位:億円)(億円未満四捨五入)

	2009年度					2010年度			
	第1四半期 4~6月	第2四半期 7~9月	第3四半期 10~12月	第4四半期 1~3月	通期実績	第1四半期 4~6月	第2四半期 7~9月	下期予想	通期予想
売上高	1,008 24.9%	975 24.1%	1,220 30.1%	845 20.9%	4,047 100.0%	1,088 27.1%	959 23.9%	1,963 49.0%	4,010 100.0%
(国内)	(945) (25.0%)	(902) (23.9%)	(1,156) (30.6%)	(775) (20.5%)	(3,779) (100.0%)	(1,020) (27.3%)	(889) (23.8%)	(1,825) (48.9%)	(3,735) (100.0%)
(海外)	(62) (23.3%)	(72) (27.0%)	(64) (23.8%)	(70) (26.0%)	(269) (100.0%)	(67) (24.5%)	(70) (25.4%)	(138) (50.1%)	(275) (100.0%)
医薬品事業	982 24.8%	952 24.1%	1,196 30.2%	827 20.9%	3,957 100.0%	1,060 27.1%	938 24.0%	1,909 48.9%	3,907 100.0%
(国内)	(928) (25.0%)	(885) (23.8%)	(1,138) (30.7%)	(761) (20.5%)	(3,711) (100.0%)	(1,002) (27.4%)	(873) (23.8%)	(1,785) (48.8%)	(3,660) (100.0%)
(海外)	(54) (22.0%)	(68) (27.5%)	(58) (23.7%)	(66) (26.8%)	(246) (100.0%)	(58) (23.5%)	(66) (26.6%)	(123) (50.0%)	(247) (100.0%)
その他	26 28.7%	22 24.6%	24 26.3%	18 20.4%	90 100.0%	28 26.8%	21 20.3%	55 52.9%	103 100.0%
(国内)	(18) (25.9%)	(17) (25.7%)	(18) (26.9%)	(15) (21.5%)	(68) (100.0%)	(18) (24.3%)	(17) (22.1%)	(40) (53.6%)	(75) (100.0%)
(海外)	(8) (37.4%)	(5) (21.0%)	(5) (24.6%)	(4) (17.0%)	(22) (100.0%)	(9) (33.3%)	(4) (15.5%)	(14) (51.1%)	(28) (100.0%)
売上原価 売上原価率	359 35.6%	351 36.0%	458 37.5%	310 36.7%	1,478 36.5%	413 38.0%	365 38.1%	762 38.8%	1,540 38.4%
販売費及び 一般管理費	423 21.6%	575 29.4%	437 22.4%	520 26.6%	1,955 100.0%	409 22.7%	458 25.5%	933 51.8%	1,800 100.0%
研究開発費	162 19.4%	284 34.2%	165 19.9%	220 26.5%	831 100.0%	160 22.8%	165 23.6%	375 53.6%	700 100.0%
人件費	127 23.9%	135 25.5%	131 24.7%	137 25.9%	530 100.0%	124 24.2%	135 26.4%	252 49.4%	510 100.0%
販売促進費	23 19.2%	33 27.9%	29 24.5%	34 28.5%	120 100.0%	17 14.8%	36 30.2%	65 55.0%	118 100.0%
のれん償却額	25 25.0%	25 25.0%	25 25.0%	25 25.0%	101 100.0%	25 25.1%	25 25.1%	50 49.8%	101 100.0%
その他	86 23.2%	97 25.9%	87 23.3%	103 27.6%	373 100.0%	83 22.3%	97 26.2%	191 51.5%	371 100.0%
営業利益	226 36.7%	49 7.9%	325 52.9%	15 2.5%	615 100.0%	266 39.7%	136 20.3%	268 40.1%	670 100.0%
経常利益	231 37.4%	48 7.9%	325 52.7%	13 2.0%	616 100.0%	268 40.0%	137 20.4%	265 39.6%	670 100.0%
四半期(当期) 純利益	114 37.6%	22 7.2%	191 63.0%	24 7.8%	303 100.0%	147 41.3%	80 22.6%	128 36.0%	355 100.0%

(注)各項目(売上原価を除く)の下段は進捗率を表示

⑨ 四半期業績推移(主要製品売上高)

(単位:億円)(億円未満四捨五入)

	2009年度					2010年度			
	第1四半期 4~6月	第2四半期 7~9月	第3四半期 10~12月	第4四半期 1~3月	通期実績	第1四半期 4~6月	第2四半期 7~9月	下期予想	通期予想
医療用医薬品	971	937	1,184	816	3,908	1,047	922	1,885	3,854
	24.8%	24.0%	30.3%	20.9%	100.0%	27.2%	23.9%	48.9%	100.0%
国内医療用医薬品	889	832	1,102	723	3,546	961	830	1,716	3,507
	25.1%	23.5%	31.1%	20.4%	100.0%	27.4%	23.7%	48.9%	100.0%
レミケード	103	124	132	112	472	144	150	314	607
	21.9%	26.3%	28.0%	23.8%	100.0%	23.7%	24.6%	51.7%	100.0%
ラジカット	72	67	84	57	280	80	63	140	283
	25.6%	24.0%	30.0%	20.4%	100.0%	28.2%	22.3%	49.5%	100.0%
セレジスト	44	40	51	34	169	48	42	88	178
	26.2%	23.7%	30.2%	19.9%	100.0%	27.1%	23.4%	49.5%	100.0%
アンブラーグ	51	44	58	31	184	45	38	77	160
	27.7%	23.9%	31.4%	17.0%	100.0%	28.3%	23.5%	48.2%	100.0%
ウルソ	43	39	48	32	163	41	36	73	150
	26.5%	24.2%	29.5%	19.7%	100.0%	27.5%	23.9%	48.6%	100.0%
メインテート	29	26	33	22	110	32	27	59	118
	26.2%	23.4%	30.2%	20.2%	100.0%	27.3%	23.1%	49.6%	100.0%
デバス	31	28	33	24	116	31	26	54	111
	26.7%	24.0%	28.7%	20.6%	100.0%	27.8%	23.8%	48.4%	100.0%
タナトリル	32	26	34	20	111	28	22	43	93
	28.5%	23.4%	30.4%	17.7%	100.0%	29.6%	24.2%	46.2%	100.0%
ヘルベッサー	30	26	32	20	108	27	22	46	95
	28.0%	23.7%	29.5%	18.9%	100.0%	28.5%	22.9%	48.6%	100.0%
タリオン	24	18	30	35	106	27	21	78	126
	22.3%	16.6%	28.4%	32.7%	100.0%	21.2%	16.6%	62.2%	100.0%
ヴェノグロブリンIH	25	24	29	18	96	24	22	42	88
	26.4%	24.9%	30.3%	18.4%	100.0%	27.3%	24.5%	48.2%	100.0%
リブル	22	19	23	16	80	20	17	35	73
	27.5%	23.9%	28.5%	20.0%	100.0%	27.9%	23.3%	48.9%	100.0%
サアミオン	21	18	22	13	72	18	15	31	64
	28.3%	24.2%	29.7%	17.8%	100.0%	28.5%	23.6%	47.9%	100.0%
ノイアート	14	15	18	10	57	15	13	27	55
	24.3%	25.6%	32.1%	18.1%	100.0%	26.7%	23.7%	49.6%	100.0%
オメブラゾン	15	13	17	10	55	14	11	23	48
	27.6%	23.9%	30.3%	18.2%	100.0%	29.0%	23.3%	47.7%	100.0%
ノバスタン	8	7	8	6	29	9	8	14	31
	26.9%	24.7%	28.4%	20.0%	100.0%	29.1%	25.0%	45.9%	100.0%
ワクチン(注2)	63	68	55	45	230	77	73	117	268
	27.3%	29.5%	23.7%	19.4%	100.0%	28.9%	27.4%	43.7%	100.0%
(内、ミールビック)	(49)	(29)	(11)	(29)	(118)	(50)	(26)	(42)	(118)
	(41.7%)	(24.5%)	(9.2%)	(24.6%)	(100.0%)	(42.3%)	(22.0%)	(35.8%)	(100.0%)
(内、インフルエンザ)(注2)	(0)	(24)	(38)	(2)	(64)	(0)	(20)	(53)	(73)
	(0.0%)	(38.0%)	(59.0%)	(3.1%)	(100.0%)	(0.0%)	(26.8%)	(73.3%)	(100.0%)
(内、ジェービックV)	(4)	(7)	(3)	(6)	(20)	(18)	(19)	(10)	(47)
	(19.5%)	(33.6%)	(15.6%)	(31.3%)	(100.0%)	(37.7%)	(41.1%)	(21.3%)	(100.0%)
ジェネリック(注3)	18	17	28	22	85	29	25	81	135
	21.1%	20.2%	33.0%	25.8%	100.0%	21.2%	18.8%	59.9%	100.0%
海外医療用医薬品	53	61	56	59	228	57	56	108	221
	23.0%	26.6%	24.4%	25.9%	100.0%	25.6%	25.5%	48.9%	100.0%
ヘルベッサー	12	13	11	11	47	12	12	20	45
	25.6%	27.4%	24.1%	22.8%	100.0%	27.1%	27.6%	45.4%	100.0%
アルガトロバン (ノバスタン)	8	9	8	11	36	10	8	12	31
	23.1%	24.8%	22.0%	30.2%	100.0%	33.2%	26.5%	40.2%	100.0%
タナトリル	4	6	4	4	18	5	4	8	18
	23.1%	30.6%	23.2%	23.1%	100.0%	31.0%	23.9%	45.1%	100.0%
アンブラーグ	4	2	4	2	11	1	2	6	10
	33.1%	20.7%	30.9%	15.4%	100.0%	14.6%	25.9%	59.6%	100.0%
ワクチン	3	3	3	3	13	3	4	7	13
	25.7%	25.5%	23.9%	24.9%	100.0%	19.0%	30.1%	50.9%	100.0%
製造受託品(注4)	26	27	22	27	102	27	25	45	97
	25.7%	26.4%	21.6%	26.4%	100.0%	27.6%	26.1%	46.3%	100.0%
技術導出契約金等	3	17	4	7	31	3	10	16	29
	10.8%	54.5%	12.6%	22.1%	100.0%	9.5%	35.6%	54.9%	100.0%
一般用医薬品	11	15	13	11	50	13	16	24	53
	22.9%	30.6%	25.2%	21.3%	100.0%	24.4%	30.0%	45.6%	100.0%
医薬品事業	982	952	1,196	827	3,957	1,060	938	1,909	3,907
	24.8%	24.1%	30.2%	20.9%	100.0%	27.1%	24.0%	48.9%	100.0%
その他	26	22	24	18	90	28	21	55	103
	28.7%	24.6%	26.3%	20.4%	100.0%	26.8%	20.3%	52.9%	100.0%
売上高合計	1,008	975	1,220	845	4,047	1,088	959	1,963	4,010
	24.9%	24.1%	30.1%	20.9%	100.0%	27.1%	23.9%	49.0%	100.0%

(注1)各項目の下端は進捗率を表示

(注2)ワクチンおよびインフルエンザワクチンの2009年度実績には、新型インフルエンザワクチンを含めない

2010年度については、新型インフルエンザワクチンは従来のインフルエンザワクチンに一本化されている

(注3)田辺製薬販売の取扱品

(注4)他社製品の製造受託品等

IV. 新製品開発状況について（2010年10月29日現在）

1. 国内開発状況

① 新規化合物

治験コード/製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	開発段階	起源	備考
CNT0148 (ゴリムマブ)	抗ヒトTNF α モノクローナル抗体製剤 (関節リウマチ)	申請中 (2010年6月)	米:セントコア・オー ゾ・バイオテック	共同開発 (ヤンセンファーマ)
MP-424 (テラプレビル)	NS3-4Aプロテアーゼ阻害剤 (C型慢性肝炎)	フェーズ 3	米:ヴァーテックス	
MP-513 (テネグリブチン)	DPP4阻害剤 (2型糖尿病)	フェーズ 3	自社	
BK-4SP	ワクチン (百日せき、ジフテリア、破傷風及び急性灰白髄炎の予防)	フェーズ 3	一般財団法人 阪大微生物病研究会	共同開発 (一般財団法人 阪大微生物病研究会)
APTA-2217 (ロフルミラスト)	PDE4阻害剤 (気管支喘息) (COPD)	フェーズ 2/3 フェーズ 2/3	スイス:ナイコメッド	共同開発 (スイス:ナイコメッド)
FTY720 (フィンゴリモド塩酸塩)	スフィンゴシン1リン酸受容体調節剤 (多発性硬化症*)	フェーズ 2	自社	共同開発 (ノバルティスファーマ)
MP-214 (カリブラジン)	D3/D2受容体拮抗剤 (統合失調症)	フェーズ 2	ハンガリー: ゲデオンリヒター	
TA-7284 (カナグリフロジン)	SGLT2阻害剤 (糖尿病)	フェーズ 2	自社	
MP-435	C5a受容体拮抗剤 (関節リウマチ)	フェーズ 2	自社	
MT-4666	α 7nACh受容体作動薬 (アルツハイマー病)	フェーズ 1	米:エンヴィヴオ	

② 効能追加

治験コード/製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	開発段階	起源	備考
献血ヴェノグロブリンIH (ポリエチレングリコール処理人 免疫グロブリン)	ヒト免疫グロブリンG (免疫グロブリンG2欠乏症) (全身性強皮症) (重症筋無力症*)	申請中 (1997年12月) フェーズ 3 フェーズ 3	自社	
モディオダール (モダフィニル)	精神神経用剤 (閉塞性睡眠時無呼吸症候群)	申請中 (2010年5月)	米:セファロン	共同開発 (アルフレッサファーマ)
MCI-9038 (アルガトロバン)	抗トロンビン剤 (ヘパリン起因性血小板減少症(HIT)における経皮的冠動脈イ ンターベンション時、ならびに血液透析時の血液凝固防止)	申請中 (2010年8月)	自社	
レミケード (インフリキシマブ[遺伝子組換 え])	抗ヒトTNF α モノクローナル抗体製剤 (クローン病:用法・用量の変更)	フェーズ 3	米:セントコア・オー ゾ・バイオテック	
ラジカット (エダラボン)	フリーラジカル消去剤 (筋萎縮性側索硬化症*)	フェーズ 3	自社	
メインテート (ビソプロロール)	選択的 β 1遮断剤 (慢性心不全)	フェーズ 3	独:メルク	
コレバイン (コレスチミド(JAN))	胆汁酸分泌制御 (2型糖尿病) リン吸収阻害作用 (高リン血症)	フェーズ 2 フェーズ 1	自社	

*: 希少疾病用医薬品指定

2. 海外開発状況

① 新規化合物

治験コード/製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域	開発段階	起源	備考
リバロ (ピタバスタチンカルシウム)	HMG-CoA還元酵素阻害剤 (高コレステロール血症、家族性高コレステロール血症)	台湾 インドネシア	申請中 (2010年4月) 申請中 (2010年6月)	興和	台田薬品による申請 タナベ インドネシアによる申請
MCI-196 (コレステラン(INN))	リン吸収阻害剤 (高リン血症)	米国、欧州	フェーズ 3	自社	
MP-146	尿毒症毒素吸着剤 (慢性腎臓病)	米国、欧州	フェーズ 3	クレハ	
MT-2832 (レナカルシポール)	ビタミンD誘導体 (二次性副甲状腺機能亢進症)	米国・カナダ	フェーズ 2	カナダ: サイトクローム	
MCI-186 (エダラボン)	フリーラジカル消去剤 (脳梗塞急性期)	欧州	フェーズ 2	自社	
MP-513 (テネリグリプチン)	DPP4阻害剤 (2型糖尿病)	欧州 米国	フェーズ 2 フェーズ 1	自社	
GB-1057 (人血清アルブミン[遺伝子組換え])	遺伝子組換えヒト血清アルブミン (安定化剤)	米国	フェーズ 1	自社	
TA-8995	CETP阻害剤 (脂質異常症)	欧州	フェーズ 1	自社	
MP-124	PARP阻害剤 (脳梗塞急性期)	米国・カナダ	フェーズ 1	自社	
MP-136	PPAR α 作動剤 (脂質異常症)	欧州	フェーズ 1	自社	
MT-3995	選択的ミネラルコルチコイド受容体拮抗薬 (高血圧)	欧州	フェーズ 1	自社	

② 効能追加

治験コード/製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域	開発段階	起源	備考
MCI-9038 (アルガトロバン)	抗トロンビン剤 (ヘパリン起因性血小板減少症(HIT))	欧州	申請準備中	自社	

3. 導出品の開発状況

治験コード/製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域	開発段階	導出先
FTY720 (フィンゴリモド塩酸塩)	スフィンゴシン1リン酸受容体調節剤 (多発性硬化症)	欧州	申請中 (2009年12月)	スイス:ノバルティスファーマ
TA-1790 (アバナフィル)	PDE5阻害剤 (勃起不全)	米国	フェーズ3	米:ヴィーヴァス
		韓国	フェーズ3	韓:チョンウェイ
TA-7284 (カナグリフロジン)	SGLT2阻害剤 (2型糖尿病) (肥満)	米国、欧州	フェーズ3	米:ジョンソン・エンド・ジョンソン
		米国、欧州	フェーズ2	
T-0047 (フィラテグラスト)	細胞接着阻害剤[4 7/ 4 1阻害剤] (多発性硬化症)	欧州	フェーズ2	英:グラクソ・スミスクライン
MKC-242	セロトニン1A受容体作動剤 (不眠症)	米国	フェーズ2	米:メディシノバ
TA-2005 (カルモテロール)	長時間作用性 2受容体刺激剤 (喘息、COPD)	欧州	フェーズ2	伊:キエージー
MKC-231	神経新生促進剤 (うつ病 / 不安障害)	米国	フェーズ2	米:ブレインセルズ
Y-39983	ROCK阻害剤 (緑内障)	日本	フェーズ2	日:千寿製薬
MT-210	セロトニン2A / シグマ2 受容体拮抗剤 (統合失調症)	欧州	フェーズ2	仏:クレナイック
sTU-199 (テナトプラゾール)	プロトンポンプ阻害剤 (胃食道逆流症)	欧州	フェーズ1	仏:ネグマ(シデム)
TT-138	3受容体作動剤 (頻尿 / 尿失禁)	米国	フェーズ1	米:メディシノバ
TA-7906	PDE4阻害薬 (アトピー性皮膚炎)	日本	フェーズ1	日:マルホ

4. 2010年度第1四半期決算発表時点（2010年7月29日）からの変更点

治験コード/製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	前回発表時点	2010年10月29日現在
献血ヴェノグロブリンIH (ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン)	ヒト免疫グロブリンG (多発性筋炎・皮膚筋炎*)	国内 申請中 (2003年5月)	承認 (2010年10月)
TA-8317 / アクレフ (フェタニルクエン酸塩)	口腔粘膜吸収癌性疼痛治療剤(医療用麻薬) (癌性突出痛)	国内申請中 (2008年8月)	承認 (2010年10月)
MCI-9038 / ノバスタン(国内) (アルガトロバン)	抗トロンピン剤 (HITにおける経皮的冠動脈インターベンション時、なら びに血液透析時の血液凝固防止)	記載なし	国内申請 (2010年8月)
MP-435	C5a受容体拮抗剤 (関節リウマチ)	国内 フェーズ 1	国内 フェーズ2

導出品

FTY720 (フィンゴリモド塩酸塩)	スフィンゴシン1リン酸受容体調節剤 (多発性硬化症)	欧米申請中 (2009年12月)	米国、ロシア承認 (2010年9月)
TA-7906	PDE4阻害薬 (アトピー性皮膚炎)	記載なし	フェーズ 1

*: 希少疾病用医薬品指定

5. 新製品開発状況補足資料（2010年10月29日現在）

国内 新規化合物

TA-8317 / アクレフ (フェンタニルクエン酸塩)	フェンタニルを口腔内の粘膜から速やかに吸収させることにより、癌に伴う突発性の疼痛に対して鎮痛効果を示す頓用剤。欧米では既に市販されている。セファロン(米)より導入。2010年10月承認。
CNT0148 (ゴリムマブ)	抗TNF モノクローナル抗体。セントコア(米)より導入。皮下注射剤の関節リウマチ治療薬として、ヤンセンファーマと共同で開発実施、2010年6月に申請。
MP-424 (テラプレビル)	C型肝炎ウイルスのプロテアーゼNS3/4A阻害による経口投与可能なC型慢性肝疾患治療剤。ヴァーテックス(米)より導入。フェーズ3。
MP-513 (テネリグリプチン)	DPP4酵素阻害により、食事摂取後のインスリン分泌を促進し、空腹時のインスリン分泌を促進しない、2型糖尿病治療剤。フェーズ3。
BK-4SP	百日せき菌の抗原、ジフテリアトキソイド、破傷風トキソイド、および不活化ポリオウイルスの混合ワクチン。一般財団法人阪大微生物病研究会と共同開発。フェーズ3。
APTA-2217 (ロフルミラスト)	優れた抗炎症作用を有する、経口投与可能な呼吸器疾患治療剤。海外臨床試験で喘息とCOPD(慢性閉塞性肺疾患)の両方に対して有効性が認められている。ナイコメッド(スイス)より導入。喘息でフェーズ2/3、COPDでフェーズ2/3。
FTY720 (フィンゴリモド塩酸塩)	(2007年9月、希少疾病用医薬品指定)スフィンゴシン1リン酸受容体調節剤。ノバルティスファーマと共同で多発性硬化症を対象にフェーズ2。
MP-214 (カリプラジン)	ドパミンD3/D2受容体拮抗作用を有する。ゲデオンリッター(ハンガリー)より導入。統合失調症を対象にフェーズ2。
TA-7284 (カナグリフロジン)	SGLT2選択的阻害剤。腎臓における糖再吸収を阻害して血糖値を低下させる。2型糖尿病でフェーズ2。
MP-435	補体成分C5a受容体拮抗作用を有する経口の免疫調節剤。関節リウマチ治療を対象にフェーズ2。
MT-4666	7ニコチン性アセチルコリン受容体(nAChR)アゴニスト。エンヴィヴォ(米)より導入。アルツハイマー病を対象にフェーズ1。

国内 効能追加

<p>献血ヴェノグロブリンIH (ポリエチレングリコール処理 人免疫グロブリン)</p>	<p>(免疫グロブリンG2欠乏症)申請中。 (びまん型全身性強皮症)国内の臨床研究によって疾患の主要因である皮膚症状の改善に対してIVIGの有効性が見出され、海外においても有効性が報告されている。フェーズ3。 (重症筋無力症(2009年9月、希少疾病用医薬品指定))国内において血液浄化療法群を対照としたフェーズ3。</p>
<p>モディオダール (モダフィニル)</p>	<p>(閉塞性睡眠時無呼吸症候群)2008年5月に共同開発会社のアルフレッサファーマが申請したが、当局との相談の結果、追加データ取得のため、追加臨床試験フェーズ3を実施し2010年5月に追加データを提出。</p>
<p>MCI-9038 (アルガトロバン)</p>	<p>(ヘパリン起因性血小板減少症(HIT)における経皮的冠動脈インターベンション時、ならびに血液透析時の血液凝固防止)2010年8月に公知申請。</p>
<p>レミケード (インフリキシマブ(遺伝子組 換え))</p>	<p>(クローン病)レミケードの増量効果を確認するため、維持療法中に効果不十分となった患者を対象にフェーズ3。</p>
<p>ラジカット (エダラボン)</p>	<p>(筋萎縮性側索硬化症(2005年6月、希少疾病用医薬品指定))フェーズ3。</p>
<p>メインテート (ピソプロロール)</p>	<p>(慢性心不全)欧州で実施された大規模臨床試験(CIBIS 試験)でNYHA ~ 度の慢性心不全患者の延命効果を高めることが明らかにされた。国内では慢性心不全の効能追加のための臨床試験を実施し、2006年4月に申請した。その後当局との相談の結果、追加臨床試験が必要となりフェーズ3。</p>
<p>コレバイン (コレスチミド(JAN))</p>	<p>(2型糖尿病)フェーズ2。 (高リン血症)フェーズ1。</p>

海外 新規化合物

リバロ (ピタバスタチンカルシウム)	2009年8月に興和から導入したHMG-CoA還元酵素阻害剤。高コレステロール血症治療薬として、台湾およびインドネシアで海外子会社が申請中。日本では製品名リバロで興和が販売中。
MCI-196 (コレステラン(INN))	陰イオン交換樹脂。欧米で腎透析患者における高リン血症を対象にフェーズ3。日本では、高コレステロール血症治療薬として製品名コレバインで販売中。
MP-146	2006年11月にクレハから導入した経口の球状吸着炭。慢性腎臓病患者を対象に欧米においてフェーズ3。日本では製品名クレメジンで第一三共が販売中。
MT-2832 (ルナカルシポール)	2008年7月にサイトクローム(カナダ)から導入。ビタミンDシグナル伝達を強力に活性化すると同時に、ビタミンDの不活性化をつかさどる酵素CYP24に分解されにくい新しいタイプのビタミンD誘導体。カナダにおいて慢性腎不全患者を対象に二次性副甲状腺機能亢進症でフェーズ2。
MCI-186 (エダラボン)	世界初の脳保護剤(フリーラジカル消去剤)。脳梗塞急性期を対象に欧州でフェーズ2。日本では製品名ラジカットで販売中。
MP-513 (テネリグリブチン)	DPP4酵素阻害により、食事摂取後のインスリン分泌を促進し、空腹時のインスリン分泌を促進しない、2型糖尿病治療剤。米国でフェーズ1、欧州でフェーズ2。
GB-1057 (人血清アルブミン(遺伝子組換え))	遺伝子組換えヒト血清アルブミン。米国で安定化剤でフェーズ1。
TA-8995	CETP阻害により、HDL-Cを増加させLDL-Cを低下させる脂質異常症治療剤。欧州でフェーズ1。
MP-124	PARP酵素阻害により神経細胞の傷害保護作用を示す。米国・カナダで脳梗塞急性期を対象にフェーズ1。
MP-136	PPAR 作動剤。欧州において脂質異常症でフェーズ1。
MT-3995	選択的ミネラルコルチコイド受容体拮抗薬。欧州において、高血圧でフェーズ1。

海外 効能追加

MCI-9038 (アルガトロバン)	(ヘパリン起因性血小板減少症(HIT))ドイツ、オーストリア、スウェーデン、デンマーク、ノルウェー、オランダ、アイスランド、イタリア、フィンランドの9カ国で承認取得。欧州の他国への申請を準備中。
-----------------------	---

導出品

FTY720 (フィンゴリモド塩酸塩)	スフィンゴシン1リン酸受容体調整剤。ノバルティスファーマが多発性硬化症を対象に欧米で2009年12月に申請した。米国、ロシアでは2010年9月に承認された。
TA-1790 (アバナフィル)	即効性で、副作用の少ない勃起障害治療剤として創製。米国でヴィーヴァスによりフェーズ3。韓国でチョンウェイによりフェーズ3。
TA-7284 (カナグリフロジン)	SGLT2選択的阻害薬。腎臓における糖再吸収を阻害して血糖値を低下させる。ジョンソン・エンド・ジョンソンにより欧州・米国で糖尿病を対象にフェーズ3。肥満を対象にフェーズ2終了。
T-0047 (フィラテグラスト)	白血球が炎症部位に浸潤する過程を抑える細胞接着阻害剤。T-0047の臨床試験はグラクソ・スミスクラインによって欧州ほかでフェーズ2。
MKC-242	セロトニン1A受容体の作動薬で、依存性が生じる可能性が低く即効性が期待される不安症やうつ病などの精神障害治療剤。米国メディシノバで不眠症を対象にフェーズ2。
TA-2005 (カルモテロール)	喘息とCOPD(慢性閉塞性肺疾患)の治療用薬で、選択的、早期作用性、長時間作用性 2刺激剤。欧州でキエージャーによりフェーズ2。
MKC-231	神経新生促進剤。米国でブレインセルズによりフェーズ2。
Y-39983	血管平滑筋を弛緩させるROCK(Rho-キナーゼ)阻害作用をもつ薬剤。国内で千寿製薬によりフェーズ2。
MT-210	セロトニン2A / シグマ2 受容体拮抗剤。仏:キレナイックによりフェーズ2。
sTU-199 (テナトプラゾール)	国内で開発していたTU-199の光学異性体で、ネグマ(仏)へ導出。欧米で実施されたフェーズ1試験のPK/PDにおいて、長い血中濃度半減期より1日1回投与で夜間における優れた胃酸コントロールが確認され、早期の症状改善や治癒が期待されている。子会社のシテムが胃食道逆流症を対象に、欧州でフェーズ1。
TT-138	3受容体作動作用を持つ頻尿・尿失禁治療剤。米国でメディシノバによりフェーズ1。
TA-7906	PDE4阻害薬。アトピー性皮膚炎を予定適応症に、国内でマルホによりフェーズ1で開発中。

< 参考 > 主要医療用医薬品補足資料

レミケード (2002年5月発売) 【薬効】抗ヒトTNF モノクローナル抗体 (関節リウマチ、活動期クローン病、ペーチェット病による難治性網膜ぶどう膜炎、乾癬、強直性脊椎炎)、中等症から重症の潰瘍性大腸炎の治療

炎症性サイトカインであるTNF をターゲットとした抗TNF 抗体で、早く強力な効果と、1回の投与で2カ月間効果が持続するという点が特長である。2007年1月にペーチェット病による難治性網膜ぶどう膜炎の効能が追加され、同年11月にクローン病に対する維持療法が承認された。2009年7月に関節リウマチにおいて投与量の増量や投与間隔の短縮ならびに関節破壊の抑止効果が承認された。さらに、乾癬の効能・効果追加の承認が2010年1月、2010年4月には強直性脊椎炎、さらに2010年6月には潰瘍性大腸炎の効能・効果が承認された。
オリジン：(米)セントコア

ラジカット (2001年6月発売) 【薬効】フリーラジカルスカベンジャー (脳保護剤)

我が国で開発された世界初の脳保護剤 (フリーラジカルスカベンジャー) であり、脳梗塞急性期の患者における神経候、日常生活動作障害、機能障害 (退院時の後遺症の程度) を改善する。脳梗塞の3つの主要病型 (ラクナ梗塞、アテローム血栓性脳梗塞、心原性脳塞栓症) いずれにも適応がある。発症後24時間以内に投与を開始し、投与期間は14日以内。2010年1月には点滴静注バッグが承認された。

セレジスト (2000年9月発売) 【薬効】脊髄小脳変性症治療剤

脊髄小脳変性症による運動失調に対し、甲状腺刺激ホルモン放出ホルモン (TRH) が有効であることは既に確認されていたが、これまでは注射剤のみであった。自社技術によりTRHを誘導体化し、経口投与を世界で初めて可能にした。2009年6月に口腔内崩壊錠の剤形追加が承認され、10月に発売した。

アンブラーグ (1993年10月発売) 【薬効】5-HT₂ブロッカー (抗血小板剤)

閉塞性動脈硬化症 (ASO) など慢性動脈閉塞症に対する治療薬 (経口抗血小板薬) である。セロトニンにより増強される血小板凝集、血管収縮、血管平滑筋細胞増殖を抑制することにより慢性動脈閉塞症に伴う潰瘍、疼痛、冷感等の虚血性諸症状を改善する。特に側副血行路の血流を改善する。2007年8月に高齢者にも服用しやすい小型化錠が承認された。

ウルソ (1962年7月発売) 【薬効】肝・胆・消化機能改善剤

本剤の主成分ウルソデオキシコール酸 (UDCA) は、古くから消化器症状の改善に用いられてきた熊胆 (クマノイ) が薬効の起源であり、ヒト生体内に存在する胆汁酸の一つである。本剤は肝細胞を保護する作用をもち、慢性肝疾患・C型慢性肝疾患における肝機能の改善、胆石の溶解等の効能をもつ。

メインテート (1990年11月発売) 【薬効】選択的 1遮断剤 (高血圧症・狭心症・不整脈治療剤)

世界85カ国以上で使用されている代表的な 1遮断剤。極めて高い 1選択性と良好な薬物動態を示し、高い有効性と安全性とともにエビデンスに基づいた心保護効果を有する。
オリジン：(独)メルク KG a A

デパス (1984年3月発売) 【薬効】精神安定剤

国内で最も汎用される抗不安薬。強力な抗不安作用に筋緊張緩解作用、鎮静・催眠作用を併せ持つため、心身症、神経症だけでなく、腰痛症、頸椎症、筋収縮性頭痛、うつ病ならびに睡眠障害にも効果が認められている。

タナトリル (1993年12月発売) 【薬効】アンジオテンシン変換選択性阻害剤 (高血圧症治療剤)

確実な血圧降下作用および高い臓器保護作用を有しながら、この種の薬剤に一般的な副作用である空咳の発生頻度が少ない。2002年には日本で初めて1型糖尿病に伴う糖尿病性腎症への効能を追加した。

ヘルベッサ (1974年2月発売) 【薬効】カルシウム拮抗剤 (狭心症・高血圧症治療剤)

世界110カ国以上で使用されている代表的なカルシウム拮抗剤。血圧降下作用に加え、心拍数を抑えて心臓の負担を軽減し、冠血管拡張作用により酸素供給を増加させる。狭心症や高血圧症において心臓をやさしく保護する効果がある。

タリオン (2000年10月発売) 【薬効】アレルギー性疾患治療剤

抗ヒスタミンH₁作用の発現が早くみられ、アレルギー性鼻炎、蕁麻疹、皮膚疾患に伴うそう痒に即効性を発揮する。一方で、眠気の発現頻度が低い。2007年3月に口腔内崩壊錠の剤形追加が承認され、7月に発売した。
オリジン：宇部興産 開発：共同

<参考> 主要医療用医薬品補足資料

ヴェノグロブリン-IH (1992年1月発売) 【薬効】血漿分画製剤 (液状・静注用人免疫グロブリン製剤)

国内の献血血液を原料として製造された人免疫グロブリン製剤。免疫グロブリンの持つ4つの作用（オプソニン作用、毒素やウイルスの中和作用、免疫溶菌作用、抗体依存性細胞傷害）により、抗菌薬と併用することで重症感染症に対する効果を発揮する。

リプル (1988年11月発売) 【薬効】プロスタグランジンE1製剤

世界初の静注用プロスタグランジンE1のDDS（ドラッグ・デリバリー・システム）製剤。血管に直接作用し拡張させることにより慢性動脈閉塞症、糖尿病における皮膚潰瘍等の末梢循環障害を改善する。DDS化によりPGE1の治療上の有用性を最大に引き出し、投与時のデメリットを最小化することに成功した。

サアミオン (1988年6月発売) 【薬効】脳循環・代謝改善剤

脳循環・代謝改善作用を有する薬剤。脳梗塞後遺症の治療薬として処方されている。1998年に厚生省によって行われた再評価において、有用性が再確認されている。また、「脳卒中治療ガイドライン2004」において、脳梗塞慢性期の治療薬として推奨されている。

オリジン：(米) ファイザー

ノイアート (1987年6月発売) 【薬効】血漿分画製剤 (血液凝固阻止剤)

国内の献血血液を原料とした人アンチトロンビンIII製剤。人アンチトロンビンIIIを高純度に含有するDIC治療剤である。トロンビンをはじめ幅広くセリンプロテアーゼ活性を阻害することにより強力な抗凝固作用を発揮する。

オメプラゾン (1991年4月発売) 【薬効】プロトンポンプインヒビター (消化性潰瘍、胃食道逆流症治療剤)

胃酸分泌の最終過程であるプロトンポンプの働きを阻害することにより、強力かつ持続的に胃酸分泌を抑制する。世界初のプロトンポンプインヒビターである。消化性潰瘍、十二指腸潰瘍、胃食道逆流症に優れた効果をもつ。さらに、2007年5月に非びらん性胃食道逆流症が、8月にヘリコバクターピロリの二次除菌療法に係る用法・用量追加が承認された。

オリジン：(英) アストラゼネカ

ノバスタン (1990年6月発売) 【薬効】選択的抗トロンビン剤

化学合成された選択的抗トロンビン剤。1990年6月に上市され、「慢性動脈閉塞症における四肢潰瘍、安静時疼痛ならびに冷感の改善」、「脳血栓症急性期に伴う神経症候、日常生活動作の改善」、「先天性アンチトロンビンIII (ATIII) 欠乏患者における血液体外循環時の灌流血液の凝固防止」に使用されている。2008年7月に「ヘパリン起因性血小板減少症 (HIT) II型における血栓症の発症抑制」についても効能を取得した。海外では、2000年に米国FDAにより「ヘパリン起因性血小板減少症 (HIT) における血栓症の予防及び治療」の効能・効果が承認され、以来、海外9カ国において同効能・効果で承認されている。

ミールビック (2005年12月発売) 【薬効】麻しんおよび風しんの予防

麻しんと風しんの予防接種が同時に行え、接種者の負担が軽減できる乾燥弱毒生麻しん風しん混合ワクチン。麻しんおよび風しんの予防接種率の向上が期待される。

製造：阪大微生物病研究会

ジェービックV (2009年6月発売) 【薬効】日本脳炎の予防

製造過程におけるウイルスを増殖させる宿主として、Vero細胞を使用した、乾燥細胞培養日本脳炎ワクチン。本年より日本脳炎ワクチンの1期初回 (2回接種) が勧奨再開されることとなり、接種率の向上が期待される。

その他

1. 株式の状況

発行済株式数

	2010年9月末	2010年3月末
期末発行済株式総数	561,417,916	561,417,916
期末自己株式数	324,358	256,440
期末発行済株式数	561,093,558	561,161,476
期中平均自己株式数	269,959	253,814
期中平均株式数	561,147,957	561,164,102

配当金推移

	2007年度(注1)	2008年度(注2)	2009年度(注2)	2010年度2Q末(注2)	2010年度予想(注2)
1株当たり年間配当金(円)	26	28	28	14	28
配当性向(%)	44.0	43.0	39.0	28.3	34.5

(注1) 配当金は、田辺製薬の中間配当金(13円)と田辺三菱製薬の期末配当金(13円)を用いている。また、配当性向は田辺三菱製薬の下期の当期純利益からのれん償却額を除いた利益と期末配当金から算出している。

(注2) 配当性向は、当期純利益からのれん償却額を除いた利益と年間配当金から算出している。

大株主の状況

順位	株主名	2010年9月末		2010年3月末		
		持株数 千株	持株比率	(順位)	持株数 千株	持株比率
1	三菱ケミカルホールディングス	316,320	56.34%	(1)	316,320	56.34%
2	日本マスタートラスト信託銀行	29,911	5.33%	(2)	32,043	5.71%
3	日本トラスティ・サービス信託銀行	23,235	4.14%	(3)	25,237	4.50%
4	日本生命保険	15,875	2.83%	(4)	15,875	2.83%
5	ニプロ	8,030	1.43%	(5)	8,030	1.43%
6	三菱東京UFJ銀行	7,254	1.29%	(6)	7,254	1.29%
7	ジェービー モルガン チェース バンク 385147	6,900	1.23%	(7)	6,850	1.22%
8	東京海上日動火災保険	5,218	0.93%	(8)	5,218	0.93%
9	ゴールドマン・サックス・アンド・カンパニーレギュラー・アカウント	4,488	0.80%	(-)	213	0.04%
10	パーシング ディヴィジョン オブ ナルドソンラフキン アンド ジェンレット エイシー コーポレーション	4,258	0.76%	(13)	3,021	0.54%

所有者別株式数分布状況

	2010年9月末			2010年3月末		
	株主数 名	株式数 千株	構成比	株主数 名	株式数 千株	構成比
金融機関	61	103,437	18.45%	71	110,681	19.75%
外国法人等	379	87,144	15.55%	402	79,225	14.13%
個人・その他	9,324	27,793	4.96%	9,724	28,289	5.05%
その他の法人	213	340,962	60.83%	220	341,060	60.85%
金融商品取引業者	34	1,226	0.22%	31	1,239	0.22%
合計	10,011	560,562	100.00%	10,448	560,494	100.00%
単元未満株式の状況	-	855	-	-	923	-

* 1単元の株式数は1,000株

(注)個人・その他には、自己株式(2010年9月末324千株、2010年3月末256千株)を含む。

外国人持株比率

2008年3月末	2009年3月末	2010年3月末	2010年9月末
15.80%	12.98%	14.13%	15.55%

2. その他関連データ

従業員数(就業人員数)推移

(単位:人)

	2007年3月末	2008年3月末	2009年3月末	2010年3月末	2010年9月末	2011年3月末 予想
田辺三菱製薬		10,361	10,030	9,266	9,294	9,260
(単独)	()	(6,266)	(5,715)	(5,186)	(5,039)	(4,930)
田辺製薬	4,554					
(単独)	(3,033)					
三菱ウェルファーマ	5,907					
(単独)	(3,488)					

2010年4月以降のトピックス

2010年 4月13日	当社および連結子会社であるバイファは、厚生労働省より、薬事法違反による行政処分を受けた。処分の内容は、医療用医薬品「メドウェイ注5%」承認申請において、バイファが不適切な行為により作成した資料を用いて両社が申請を行った事実など、および当社の管理監督責任により、当社を対象とする「第一種医薬品製造販売業」の25日間停止、バイファを対象とする「医薬品製造業」の30日間停止を受けるもの。あわせて、当社およびバイファに対して業務改善計画書の提出を命じられる。
4月16日	抗ヒトTNF モノクローナル抗体製剤「レミケード点滴静注用100」について、強直性脊椎炎の効能・効果の追加承認を取得
6月11日	メドウェイ問題に関わる業務改善計画書を厚生労働大臣に提出(バイファは6月14日提出)
6月18日	抗ヒトTNF モノクローナル抗体製剤「レミケード点滴静注用100」について、潰瘍性大腸炎の効能・効果の追加承認を取得
6月18日	プロトンポンプ阻害薬3成分・4ブランド(当社販売名:オメプラゾン)について、3剤併用による胃MALTリンパ腫、特発性血小板減少性紫斑病及び早期胃癌に対する内視鏡的治療後胃におけるヘリコバクター・ピロリ除菌療法に係る追加適応承認を取得
6月22日	代表取締役常務執行役員に加賀邦明が就任
7月23日	注射用ニューキノロン系抗菌製剤「パズクロス」の効能・効果および用法・用量に係る承認事項一部変更承認、ならびに「パズクロス点滴静注液1000mg」の追加規格に係る製造販売承認を取得
7月31日	連結子会社である吉富薬品は、選択的セロトニン再取り込み阻害剤「パキシル錠」に関し、グラクソ・スミスクラインとのコ・プロモーションを終了
7月31日	喘息・慢性閉塞性肺疾患(COPD)治療配合剤「アドエア」に関し、グラクソ・スミスクラインとのコ・プロモーションを終了
8月	メドウェイ問題に関わる業務改善計画の具体化・実行について、客観性・透明性を図るため、社外有識者による委員会を設置
8月	抗ヒトTNF モノクローナル抗体製剤「レミケード点滴静注用100」について、「ペーチェット病による難治性網膜ぶどう膜炎」に対する市販後全例調査を終了
8月20日	第1回 メドウェイ問題に係わる信頼回復に向けた社外委員会を開催
9月15日	OTC医薬品/腔カンジダ再発治療薬「オキナゾール L100」(第1類医薬品)を新発売
9月21日	京都大学の藤多哲朗教授(現名誉教授)と吉富製薬(現田辺三菱製薬)等の共同研究から生まれた、世界初のスフィンゴシン1-リン酸受容体調節薬「FTY720」について、導出先のノバルティスファーマ(スイス)が米国において承認を取得
9月30日	第2回 メドウェイ問題に係わる信頼回復に向けた社外委員会を開催
10月1日	血管拡張性 1遮断剤「ケルロング錠 5mg/10mg」をサノフィ・アベンティスに承継
10月1日	当社が取扱う長期収載医薬品3製品を連結子会社である田辺製薬販売に販売移管
10月13日	注射用ニューキノロン系抗菌製剤「パズクロス点滴静注液 1000mg」を新発売
10月27日	連結子会社であるベネシスは、液状・静注用免疫グロブリン製剤「献血ヴェノグロブリンH5%静注」について、「多発性筋炎・皮膚筋炎における筋力低下の改善(ステロイド剤が効果不十分な場合に限る)」の効能追加に係る承認事項一部変更承認を取得
10月27日	口腔粘膜吸収癌性疼痛治療剤「アクレフ口腔粘膜吸収剤」について、癌性突出痛の効能・効果で製造販売承認を取得

本資料に関するお問合せ

広報部

TEL 06-6205-5211 FAX 06-6205-5105